

会議録

会議の名称	平成27年度第4回西東京市合築複合化基本プラン策定懇談会
開催日時	平成27年10月19日（月曜日）午後5時から7時まで
開催場所	田無庁舎5階 503会議室
出席者	（委員）伊村座長、沼本副座長、赤澤委員、有賀委員、伊藤委員、小井沼委員、鈴木委員、高松委員、服部委員、馬場委員、廣田委員、山村委員 （事務局）田中文化振興課長、岡本社会教育課長、奈良図書館長、伊田公民館長、越沼文化振興課長補佐兼市民交流係長
議題	議題1 懇談会ワークショップ 議題2 その他
会議資料の名称	資料1 視察施設概要 資料2 施設機能比較表 資料一 文化発信を目指す市民ホールの建設を！！（委員提出資料） 資料一 市民会館敷地に建築可能床面積の考察（委員提出資料） 参考資料 議員提出議案第24号 市民会館、中央図書館・田無公民館合築複合化については、時間をかけ慎重に検討することを求める決議
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○座長： 開会挨拶</p> <p>○事務局： 資料確認</p> <p>議題1 懇談会ワークショップ</p> <p>○座長： はじめに、A委員より、提出資料の説明をお願いします。</p> <p>○委員A： 資料説明</p> <p>○座長： それでは、続けて事務局より、資料1及び2の説明をお願いします。</p> <p>○事務局： 資料説明</p> <p>○座長： 写真を見て色々と思返されると思います。視察に行った先進事例の機能を中心に、どういう機能が西東京市にもあると良いかという議論をしていただきたいと思います。もちろん羽村・行田の両市にはなかったものも含めて議論していただいても構いません</p>	

ん。

本日ここで出していただいた意見をもとに、次回には、複数案になるかと思いますが、たたき台となるプランを事務局にまとめてもらおうと思っています。そのことを踏まえてご意見を出していただければと思います。

○委員B：

見に行ってみてやはり、そうかと感じたことですが、羽村市でも行田市でも、他の施設とつながって配置されてはいたが、他の施設と図書館とは、一緒にできない部分がある、文化的な要望に違いがあると感じました。

声を出すことを求める場所とそうでない場所、一人で行く場所とグループで行く場所ってのはやはり違い、両方必要な場所だが、図書館の部分には個人で行けるゆとりあるスペースがほしいなと思いました。

行田のヤングアダルトコーナーは、色々な職業につくための本のコーナーのそばに配置されていたが、誰もそこにはいませんでした。ニーズに合わない本では使われない。他の場所には勉強している人がいましたが、そういった学習室とは別に、図書館の本を使って会話のできるスペースとしてのヤングアダルトコーナーができると良いと思いました。また、羽村の方のヤングアダルトコーナーは、カフェみたいな脚高の椅子が使われていて、見た目は良いかもしれないけれど実際には誰も座らない、居心地がよい場所ではないと感じました。

うるさくしない程度には話をすることもできるように、離れていて、それでいて大人の目が届き、安心して使えるような場所、口出しをする訳ではないけど、ちゃんと守られていて、自由に使っていいんだよとされているような場所として、ヤングアダルトコーナーが設けられるとよいと思います。

○座長：

図書館の話が出たので、私の感想を言うと、いい閲覧室はいいなと個人的には思いました。

施設全体に対してでも個々の部分についてでも結構ですので、他に意見はありませんか。

○委員C：

話の腰を折るようで申し訳ないのですが、ひとつ確認したいと思います。先日の議会での議決を受け、事務局の方ではどう考えているのでしょうか。また、この懇談会について、回数を増やすという考えがあるのかなのか、伺いたいです。

○事務局：

参考資料として配りました議会の決議につきましては、平成27年第3回定例会に議員提出議案として提出され賛成多数で議決されました。

市としては、時間をかけ慎重に検討していきたいと考えています。懇談会の皆様におかれましては、基本プラン策定に向けて引き続き検討していただきたいと思います。懇談会の進行状況を踏まえ、年度内を目途に考えています。懇談会の回数は、議論の進行状況によるものと考えています。

○座長：

市議会を無視することは当然できませんが、私たちは独立した懇談会ですから、ここではここの考えをまとめればよいと思っています。また、それを一つにまとめる必要もなく、複数の案を並べて、考え方を示すという形でもよいと思っています。それを最終的にどうするかを決めるのは、この懇談会ではないし、市民の皆さんということになるんだと思います。

議決の趣旨は、もう少し時間をかけて検討をということで、この懇談会も当初の予定よりは時間をかけて、年度内という期限はあるにしても、もう少し回数も増やして議論していくことになるのかなと認識しています。

○委員D：

この決議が出てくる意図がわからない。どういう趣旨なのか、提案された方に聞いてみたいと思います。

また、このようなことだと、この懇談会で何か結論をまとめても、議会で否決されてしまい、全く無駄になってしまうのではないかと思います。

○座長：

この懇談会は議会から独立した存在です。

○委員D：

懇談会は議会の承認を得て置かれたのではないのですか。

○座長：

この懇談会は市長の委嘱によるものです。

○委員D：

今回は、検討の方向性を決めるというような話でしたが、夢のごとく実現性がなくても何でもよいから案を出していけばよいということですか。

○座長：

そうではなくて、どういう機能がほしいか、まず機能論から入らないと、今のままのものに縛られてはやはりいけないのかなと思います。それは今の西東京の状況やこれからの人口がどうなるのか、その中で50年とか使っていくことを考えて行く必要があると思います。

○委員D：

それを、3館合築を前提として考えるのですか。

○座長：

いや、極端な話をすると、複数案の中には、この機能はここには入らないから別に確保してくださいというプランもあってもよいと考えています。

ただ、そのようなものを出す場合には、なぜそうなのかという理由付けを私たちがきちんと説明できなければいけないと思う。

他自治体の事例でも、建てたときにはそれでよかったかもしれないが今はうまくいっていないとか、今後を考えると実は要らなかったとかいうものもあるだろうと思います。ですから、今だけを考えるのではなく、これから先50年とか、次の世代に何を残していくのか、そしてちゃんとマネジメントしていけるのかということも、考えなければならぬと思います。

○委員E：

ということは、この場では機能を優先して話をすればよくて、スペースはこだわらなくてよいということですね。

○座長：

今の段階では、そうです。

○副座長：

この間の視察は勉強のために行ったもので、西東京市にあるものとは別のものを見て刺激を受けるための機会として捉え、そこで見て良かったものと西東京市の良いものを合わせていくような議論が望まれると思います。

それから、ここで議論する合築が、今の3施設の機能をそのまま合わせるというのでは申し訳ないように思います。例えば、図書館で言えば、先日も話題になった、不登校の生徒が頼れるような場所になるとか、色々な機能があると思いますので、ここに集まった皆さんはそれぞれプロフェッショナルなわけですから、これからの子どもたちの成長を支えていける場所として、どのような施設にしていくのか、是非そういう前向きな意見を出してほしいと私は思います。

○座長：

今回は、今日も含めて、これまでの意見を踏まえて、何パターンかの案にまとめたものを出したいと考えていますので、視察先以外でも、ホームページを紹介したところも含めて、意見を出していただければと思います。

○委員A：

視察に行った2市は、人口は西東京市の3分の1とか4分の1とかでありながら、土地はふんだんにあるようなところで、このようなものを見ても、今の市民会館の土地ではやはり3館合築など到底できないなという感想を強く持っただけでした。

○座長：

他に紹介した事例も含めて、どのようなものであれば良いとお考えですか。批判するのは簡単です。対案を出してください。

○委員A：

例えば図書館では、ツタヤと提携してうまくいっている例もあるようですけれども、それだと今の市民会館のところではとても入らないと思います。そういった意味で、他都市ではもっと先進的な例が多いのではないかと思います。

○座長：

具体的に、西東京市に合うものとしては、どこになりますか。

○委員A：

千葉の鎌ヶ谷（きらり鎌ヶ谷）ですとか、さいたま市の加茂宮にある文化センター（さいたまプラザノース）、先日テレビでも取り上げられた相模原の図書館などがすごく参考になると思います。

○委員F：

実は私は、緊張感を持って今日を迎えました。私自身も建築の仕事をしていることもあり、今求められているものに対して最大限何ができるかを考えなければならないと思ってきました。この懇談会に託されていることは何かというと、今の市民会館の敷地に新しい施設をつくるということですから、それを前提として、何ができるのかを考えなければならないと思います。

その結果が良いものかどうかを判断するのは市民や市、市議会であったとしても、ベストなものに向けて考えることを放棄することだけはやりたくないと思っています。

確かに、あの敷地の中で考えれば面積の制約はありますが、その制限の中で、これを優先するとこんな形が考えられる、あれを優先するとまた別の形が考えられるというようになると思います。ここはせっかく異なる立場の方がいらしているので、それぞれ最大限、必要なことを発言する場であってほしいと思いますし、私は大学に籍をおく者として、その専門性の中でお手伝いしたいと思います。

○委員G：

視察で思ったこととして、使われていない保育室や和室に対して、運営をしている職員の方が誇りを持っていないことが気になりました。施設は立派でしたが、やはりニーズに対してずれていない施設でありたいと思いました。

また、視察の際にいただいた資料では、行田市はすべて教育委員会の所管施設となっていて、市の責任において運営されていること、一方、羽村市のゆとろぎは、数多くの主催・共催事業を立ち上げ、市民との協働をベースに運営されているということが書かれており、建物もさることながら、それを支える組織も大事だと感じました。

それから、座長は先ほど「50年」と仰いましたが、そういったことまで考えるのであれば、人口の見通し等について情報提供していただきたいなと感じました。

○委員H：

将来を考えて行くのに、これから少子化の時代ですし、西東京市がこの先どうなっていくのかという想定をもって考えないといけないし、そのための情報を出していただく必要があると思います。

○座長：

そのあたりの情報については、おっしゃるとおりですね。

○委員C：

それから、何がこの市で大切なのかというデータも含まれると、より一層具体的に

るかなと思います。

○委員B：

人口動態とかいうことも大事なのはわかるが、市がこれまでに作ってきた文化関連の計画などを活かすことも大事だと思います。

図書館についていえば、西東京市の図書館は本当に狭くて、その中でこれからどうしていく必要があるかという議論をしてきたのですから、この場所が中央図書館になるのであれば、現在よりも広い閲覧室（レファレンス）は絶対に必要であって、これがないままのものをつくってほしくはないです。また、その場には、現在はスペースや配線の関係で置いていないレファレンス専用に使えインターネット回線もあってほしいと思います。

子どものことについていうと、小学生は学童に入りたい子がすごく増えている状況があります。学校がお休みで学童に行かない日には図書館に来て、こんな楽しいことがただでできるよということが浸透していくとよいと思います。他の委員から相模原の例が挙げられましたが、そういう、ただ広くて経済的に成り立つようなことだけを追求するような図書館では意味がないと私は思っていて、やはり子供の成長に関わっていく、育ちを支える図書館であってほしいと思います。それは、生涯にわたって、大人たちも必要とするものではないでしょうか。

○委員F：

ヤングアダルトコーナーの中高校生ってすごく大事だと思います。私は建築学会で子どもの建築教育のことをやっているのですが、今トライしようとしているものの一つに、図書館でワークショップができないかということがあります。小学生に対しても中学生に対してもやりたいと思っていますが、昨今子どもの貧困ということが言われる中で、学童クラブ以外の受け皿としての役割を果たせるような気がしています。ただ、実際にそれをやるとなると、活動の担い手となる大人が必要になるわけですが、西東京市の中央図書館に関連するメンバーの中で、そういった可能性というのはあるのでしょうか。

○委員B：

西東京市の図書館は夜8時まで開館しています。世の中には10時までのところもありますが、私としては、小学生は8時には家に帰った方がよいと思うし、そこで働く方のことを考えても8時までが限界かなと感じるし、また、子どもたちに8時までは図書館においでと言うのもどうかなとも思います。もちろん、夏の夜に「おはなし会」などをイベントとして開催して、それをボランティアで支えていくといったような取組は、まだまだこれからできるのではないかなとも思います。

○事務局：

読書というのは、大人も子どもも個人の営みで、図書館の大きな特徴は、個人の方が利用されていることにあります。今の中央図書館では、子どもの来やすさの面で機能として不十分だと感じています。色々な子どもが自分で読みたいものを探し、また、自分では探せない子にはお手伝いできるようなスタッフがいるという環境が、中央図書館に限らず大事だと思います。

○座長：

先ほど、データから拾うという話がありましたが、それは誰にでもできる話なので、せっかくここに集まった皆さんは、そうではなくて日頃から肌で感じていることから議論していただいた方が良いのではないかと思います。私は、図書館でいえば閲覧室がもっとちゃんとあれば良いと思うし、市民会館やホールで言えば練習の場の方がしっかりと良いと思うし、展示の場も十分ではないので、そういう練習や発表が低予算でできる場所がもっとあると良いなと思います。皆さんにも、それぞれの立場からそういう話をしてもらいたいです。

○委員I：

視察で2か所を見た感想として、施設全体は大きかったけれども、交流の場は少なかったように思いました。核家族化が進んで祖父母と孫との接点も減っていると思うので、世代を超えたような交流に使えるようなスペースを広くとってほしいと思いました。

田無公民館でも、まつりなどイベントの際には交流の機会もありますが、日常的にはないと思います。また、最近では、公園がボール遊び禁止になるなど遊びづらくなってきていて、子どもたちは学校の終わった後の遊び場に困っているように思います。その結果、室内でもゲーム遊びに偏っていったのではないかと想像しており、できればそういった状況を止めたいなと感じています。これから少子化と高齢化が一緒に進んでいく中で、世代間で共存できる場があるとよいなと思います。

○委員C：

公民館でいうと、その場所がロビーになります。ロビー活動ということで今年度の事業活動に入っています。

例えば、谷戸公民館では、ロビーに小学生から高校生まで、行き場のない子や、やんちゃな子もたまったりして、使い方が悪いと警備員に怒られたりしながら、次第に成長しています。社会人になるときに、このロビーで過ごした時間が自分にとって良かったと言ってくれた子もいます。そういうところでは、周りの大人も目を向けて辛抱強く付き合っていて、あるときは勉強の面倒もみたりしますし、また高齢者の方々がやっている囲碁や将棋に混ざることでもあります。そういう自由に居られて多目的に使えるスペースが公民館として大事です。

○委員G：

柳沢では図書館の側にそういったスペース、たまり機能がありますので、必ずしも公民館とは限らないと思いますが、施設の中のどこから、そうしたたまり機能が必要だと思います。

世代間交流については、学校と高齢者施設との間などで行き来する取組が既に行われてはいますが、そういうことがより自然にできる、3世代交流ができるようになるとういと思います。

それから、子どもに限らず大人も含めて、学習・教育について相談できる機能を社会教育施設として持つ必要があると思います。

○副座長：

図書館について、閲覧スペースを多くするというだけでは皆さんで共通の一致した考えになってきていると思いますが、それにプラスして何をつくるかを考える必要があると思います。

先日、東久留米市の図書館に行ってきましたが、驚いたのは、子どもの本がたくさんあり、たくさんのお母さんと子どもたちが一緒に入っているということでした。また、2階に上がっていくと、地域の文化を展示するエリアがあり、地域の人が地域のことがわかるようにしていました。そういうふうなこれからの図書館は、子どもたちを育て、大人たちには地域のことを知ってもらう、地域循環学習といったような実用的なものであるべきだし、そして夢のあるものであればよいと思います。ここにいるスペシャリストの皆さんには、既存のものではなく、夢のある新しい図書館の形を議論してほしいと思っています。

○座長：

スペシャリストの皆さん、という話がありましたが、いかがでしょうか。また、今困っていることとか、もっとこういうことができれば良いなということとか、何かないですか。

○委員H：

高齢者ではなく働く世代の大人もきちっと使える機能として、パソコンをもってきて使える場所があるとか、それから3館合築に適しているとは思いますが、会議室がたくさんあることが重要だと思います。

○副座長：

羽村市にはたくさん会議室がありましたよね。それも部屋と机だけがあって何にでも使えるようになっていて、そこが良かったと思いました。

○委員H：

ハードとして部屋があれば、それを有料で使うか無料にするか、図書館の人も含めて誰が使うかなどといったことは、運用でどうにでもできるので、まずは、きちっとハードを整備することが重要だと思います。

○座長：

視察のときにも、案内してくださった方のお話として、オープンに使える空間の方が結局よく使われるということがあったと思います。特定の目的に絞ったものとして整備すると、例えば、パソコンが並んでいて、天井にプロジェクターが据え付けられていた部屋がありましたが、機器は古くなるから維持に手間も費用もかかるし、幅広い目的では使えないという状況になると思います。空間があって多展開できるようなスペースでないと、数年後に途端に使い勝手が悪くなるということもあるのだなと感じました。

○副座長：

部屋があれば、活用する団体が工夫すればよいと思います。例に上がったパソコン室みたいなものはもう要らないですよ。高いお金をかけてそんなものをつくるより、フリーの部屋をたくさん用意することが大事で、それを会議室として使ったり、文化祭の

ときには展示スペースとして使ったりするという事で良いと思います。

○委員H：

それから、使い方の制限の面も考えるべきです。全部がそうである必要はありませんが、飲食ができるスペースもあった方がよいと思います。コール田無では会議室は不可で、イベントルームでは飲食可となっていますから、そういうメリハリをつけた対応が必要です。もちろん有料でよいですから。

○委員G：

私は、図書館に特化して色々なところを見に行っているのですが、先進的と言われているところは多分に公民館的な要素を持っています。今の西東京市の図書館の一つの課題として、今利用していない方に来ていただくということも考える必要があると思います。そういう意味では、例えば、ビブリオバトルのようなことをするというのもあると思いますが、そうしたことをするにしても、やはり会議室がないとできません。中央図書館として会議室だけでなく、映画を観られる場所も持てるとよいですが、複合化する中では共有して持つという選択肢もあるかもしれません。

それから、ここまで自由に使える部屋の方が良いという話で進んでいますけれども、調理のできるスペースと、防音機能のあるスペースは、皆さんにとってあるとよいものだと思います。市民集会所なども歌を歌えるところがないので、防音機能があって調理もできるけど会議室としても使えるようにするとか、そういった機能は必要だと思います。

○座長：

調理ができるというのは、ケータリングではなくてということですか。

○委員G：

そうです。男の料理教室とか、外国の料理の紹介とか、今も公民館で良く企画されていますけれども、そこで調理することができる場所ということでした。

○委員C：

調理をする活動は若い人に限らず幅広く行われており、キッチンスタジオというようなものがが必要です。また、視聴覚室のように、暗幕がつけられて映画などを見ることができ、絨毯張りでヨガ等もできる部屋もあると良いと思います。

○座長：

絨毯張りの部屋であればよくて、視聴覚の機能は別ですよ。

○委員B：

それをセットにしてはどうかとおっしゃっているのだと思いますが、私は別で良いと思います。

○委員C：

それだと2部屋いることになってしまうと思いましたので。

○座長：

ここまで文化施設の側の意見が出ていませんがどうでしょう。私は羽村市の舞台も椅子も可動式になっていた小ホールなど良かったように思います。

○副座長：

公民館の機能として、災害時の避難先としての機能がありますよね。そのためのスペースと備蓄物を確保する場所とを確保することも、市民の関心の高いところだと思います。

○座長：

調理するスペースも、災害時にも使えたりするとよいですね。

○委員J：

私は、公会堂を利用する立場の代表として来ていますから、その立場から意見を言うべきところですが、それにはまず、あの場所での3館合築は絶対無理なわけですから、市の方針としてはホールをやめるということなのかを言っていたかかないといけないと思います。全ては入りきらない中で何かは犠牲にしなければなりません。

本当にあそこの敷地に、前向きに理想像のものを考えてつくるのですか。各委員に聞きたいと思います。

本日持参した資料にも示したように、市民会館の敷地は2,700平方メートル余りで、容積率200パーセントですから、5,400平方メートルのものしか建ちません。そのうち共用部分だけでも1,700平方メートルと書いていますが、それでは足りないと思います。そこに皆さんが今色々とおっしゃっているものを入れようとしても無理ですから、どれかを諦めて、そこを使っている人にごめんなさいと言うのか、あるいはそれぞれ今の場所で行かざるしかないんです。その場合には庁舎はどうするんだとなりますが、そもその元凶である保谷庁舎の4階以上の部分を切り取って、その分だけ横に増築するような対応をすれば15年から20年くらい持つ改修ができると思います。

そういうことまで考えると、今の市民会館の敷地を前向きにベストな形で使う理想像について、まずコンセプトを、全体像として、お互いに納得したものにしないと、これまで細部について意見されてきたことも実現しないのではないかと思います。

○座長：

結論として、委員の案としては市民会館のホールはなくてよいということですか。

○委員J：

なくてよいのではなく、面積的になくさざるを得ないということです。

○座長：

何を優先するかについて、必ずしも一つの案に絞らなくてもよいと考えているので、ホールがないという案も一つあるかもしれないし

○委員J：

だから、それを先に決めないといけないと言っているんです。ここまでの議論は大事な話ではあるけれども、はじっこの問題、重箱の隅ですよ。3館という話では、こういうものを出しても合意できないと思います。

○座長：

では、委員としてはどのような案ならできるとお考えですか。

○委員J：

図書館も公民館も市民会館も皆が7割くらいとかで我慢するという案ならつくれると思いますよ。それから、図書館が一番大事だというなら、そこはしっかりとして公民館と市民会館の分はすごく小さくしてしまうという案もできるかもしれませんが、懇談会で何か月も議論した結果としてそういったものを3案とか並べることがよいのでしょうか。

○座長：

今のお話を要約すると、プランAは全体縮小型、Bは図書館重視型ということになりますか。

○委員J：

そうならざるを得ないのではないかということ言っているのであって、そうしようと言っているわけではありません。

○委員E：

この懇談会の議論では、そこに収まるものにしなくても良いという話ではないのですか。

○委員J：

でも、法的にできないものを、いくら意見を言っても仕方ないでしょう。

○委員D：

余りにも実現不可能なものを出せないですね。

○委員H：

今あるものをそのまま足すのではなくて、共有できるものもあると思うのですが、そういったことも考慮しても面積的に入らないということですか。

○委員J：

そういうことも考慮して、市民会館のホール以外の部分の面積から大幅に差し引いて考えています。

○委員H：

では、もし仮に、ホールのない案というのも考えるとすれば、それは入るわけですか。

○委員J:

入りはしますが、それは大問題になりますよ。

○委員D:

市民会館からホールがなくなったら、図書館と公民館とが引っ越すだけのようなものですね。

○委員A:

高層建築物が建てられれば入るかもしれませんが、それができないのだとしたら、そんな実際にできないものを案として出してよいものでしょうか。

○委員F:

先ほども言いましたが、この懇談会に託されているのは、あそこの土地でどのようなものを作るかということだと思います。無理な夢物語的なものということではいいかという、そうではないと思います。ただ一方で、今の施設がすなわち計画したい施設規模とは限らないわけで、例えば、ホールについて言えば、今と同じくらいのホールをつくるよりも練習スペースを確保すべきというような議論もあったように記憶しています。ですから、単純な数字のみで考えることをやめてしまうべきではないように思います。

もちろん、全ての要素をどれもこれも取り入れようとするれば、新国立競技場のように破たんしてしまうかもしれませんが、何を選ぶのかに至る、その前の段階として、施設に入れるべき要素について、出にくかった意見を伺う機会として、今日の会があったのだと理解しているのですが。

○副座長:

今日の議論は大変有意義だと思います。色々な意見が出てくる中で、これから譲り合っていくところも出てくるかと思っています。それに、以前にも話しましたが、余り活用されない蔵書などは、廃校となった小学校など、新しい施設とは別の場所に確保するのでもよいという考えだってあるし、何も今の時点でもうホールはつくらないとしてしまうことはないと思います。

そういうことも含めて、これから先を見据えたときに本当に必要なものは何かを考えて、譲り合っていったらどうでしょうか。

○座長:

とても難しいテーマだということは百も承知です。

私としては、それぞれの立場の垣根ができるだけなくなるように意識して進行してきたつもりですが、やはり、皆さんはそれぞれの立場からいらしているわけですから、なかなか難しいところもあると思います。

本日、何がほしいですかということ色々と聞きましたが、それらを全部てんこ盛りにした一つの案をつくるのではありません。皆さんから出てきた意見を、強弱も含めて伺った上で、いくつかのプランをつくっていきたいが故にこのディスカッションをしているわけです。

その上で、もう少し議論が煮詰まってきたところで、共有できるところ、譲らないといけないところ、他で代替できるところといったものを見出していく必要があると思います。

ある委員から何度も発言がありましたが、皆さん自身が使う施設について考えているわけですから、考えること自体を放棄してしまったら一建設的に考えていかないと難しいかなと思います。

今日出てきた話でいうと、空間は色々転用できる場所があって、会議室として使ったり、子どもたちの学習スペースにしたりということを時間帯ですみ分けることもできると思います。それから、施設の表玄関となる入口は一つにまとめられるだろうし、たまりの機能を使って地域を紹介するということもできるかもしれません。そういうふうになんか譲り合って空間として共有できる場所はあると思います。そういうことについて、日頃から施設を利用されている皆さんが肌で感じていることを、建設的に出していきたいと思っています。それが良い施設をつくっていくための小さくても前に進める一歩だと思います。

それでは、時間となりましたので、本日の議論はここまでとします。

議題2の内容については、既に順番を入れ替えて説明されていますから、次回の日程など、事務的なことについて、事務局よりお願いします。

○副座長：

この板書に書いたものは、次回プリントにして配布していただいた方が、議論が前に戻らなくてよいと思うので、お願いします。

○委員C：

前回までの板書の内容もまとめていただけると良いと思います。

○委員H：

中央図書館として何が必要なのかについても、もう一度詰めておかないといけないと思うので、事務局の考えをまとめたものを示すなどしてもらえると良いと思います。

○座長：

事務局は、今の要望に対応するようにしてください。
それでは、日程調整をお願いします。

○事務局：

日程調整

次回（第5回）：11月12日（木曜日）午後6時～8時

次々回（第6回）：11月27日（金曜日）午後6時～8時

○座長：

それでは、これで本日の会議を終わります。お疲れ様でした。

以上